

Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 009

ガバナーズ・ヴォイス | 第2ブロックIM開催報告 | サンディエゴからの帰還

地区補助金活用活動 | 上林ガバナーの表敬訪問デイズ

第3回 諮問委員会開催の報告 | 第2回 地区 チーム研修セミナー開催 | 米山奨学生歓送会開催報告

青少年交換学生帰国後トーク⑤ | ホストファミリーを経験して | 青少年交換学生マンスリーレポート005

ウインターキャンプ [青少年交換・学友小委員会] | 会長の気持ち | [特別寄稿] 10年目を迎えたスキー交流会

第11回全国RYLA研究会出席報告 | 新入会員・表彰・訃報 | 3月のスケジュール

3 [地区方針・目標] ロータリーの原点に戻ろう

March | ガバナー月信第9号・2019年3月1日発行



インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION





尊い水と、 衛生月間について 私は考える

国際ロータリー 2018-2019年度
第2800地区ガバナー

上林直樹

Naoki Kanbayashi

※3月は「水と衛生月間」です。

このテーマを考えた時、私たちが住んでいる日本がいかに素晴らしい国なのかを改めて考えさせられます。水汲みに1時間以上も歩かなければならない母親たち。子供たちも学校教育を諦めてその母親を手伝い、毎日数時間かけて水汲みをしている国もあること。せっかく苦勞して汲んだ水も衛生的な水とは言えないため、安心して飲める水ではなく感染症や下痢を患う子どもが後を絶ちません。5歳未満の子供たちだけでも、毎日1,000人が亡くなっているという世界の国々を思うと、日本がどんなに恵まれていることかと感じざるを得ません。

日本は蛇口をひねれば飲める水が出てきます。色々な国を旅してみて、

日本ほど清潔な国はないと痛感しますが、多くの交換留学生が日本に来て一番驚くことは、ホームステイ先で日本人がほぼ毎日お風呂に入ることだと言います。これは、江戸時代からの銭湯文化によるものかもしれませんが、考えてみれば有名な古代ローマの浴場はエリートたちだけの文化であり、欧米の香水の文化は、体臭を消すために貴族達の間で流行したものであるという説もあります。一般庶民が通える公衆浴場に古くから慣れ親しんでいる日本人がいかに水に恵まれていたかが窺えるのではないのでしょうか。

しかしながら、最近はコンビニで飲み水を買うようになりました。20年程前まではミネラルウォーターを買うなんて思いもしませんでした。海外旅行に行っ

た際にホテルの冷蔵庫の上に2本のペットボトルが置いてあり重宝した経験はあるものの、日本で飲み水を買うとは考えたこともありませんでしたが、最近の日本ではどこでも飲み水が売られています。買える飲み水がなくなったとき…水を求めて争うような時代が来るかも知れないなんてありえないと思いますが、私たちは飲み水を買う時代が来ることはないと思っていたことを忘れてはならないと思います。

我々が気付かないうちに、水不足や水質汚染が深刻化していることを理解しなければ強く感じます。国際ロータリーも「2030年までにすべての人に安全

な水と衛生設備、衛生環境を提供する」という目標を掲げ、井戸や雨水

貯蔵システムの設置、水浄化プラントの設置や水設備管理の研修など、水と衛生関連の取り組みを国連とともに「持続可能な管理を確保する」(2015年)と謳っています。わが国でも無尽蔵にある海水を真水に変える技術は世界一であり、今後は処理能力の拡大と更なる開発が期待されます。

今後起こりうるであろう「世界の水戦争」に私たち日本人が今できることはなんのでしょうか。水に恵まれてきた私たちだからこそ、すべての自然のものを愛でる日本人の心を以て、改めて水の使い方を考えるべきではないのでしょうか。古くから続いてきた日本人と水の深いかわりを、子供たちや若い人々に教え伝えていくことが喫緊の課題だと感じます。

日本人と水の深いかわりを、 教え伝えていくことが課題と感じます。



食文化創造都市・鶴岡の将来像を語り合った充実したミーティング。

去る12月9日(日)、第2ブロックのIM(インターシティ・ミーティング)並びに5クラブ合同例会(鶴岡南ロータリークラブ創立25周年記念例会)

重なお話をいただきました。講演後のパネルディスカッションには早坂剛氏(グランドエルサン会長)、帯谷伸一氏(東北ハム社長)、奥田政行氏(ア



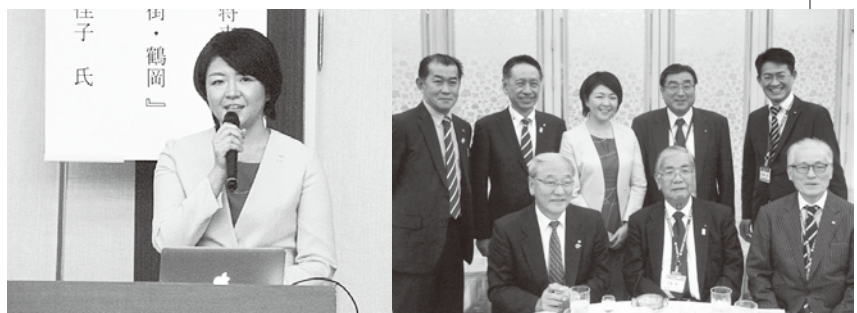
パネルディスカッションでは、鶴岡の食文化に精通した人たちから率直な意見が相次いで充実したインターシティミーティングとなった。

が東京第一ホテル鶴岡を会場に開催されました。

先のがバナー月信2月号に鶴岡南ロータリークラブの佐藤聡会長が述べていたように、今年度のIMはホストクラブである鶴岡南ロータリークラブの創立25周年にもあたっていることからIMとクラブの周年行事を同日合わせて開催するための準備を鋭意進めてまいりました。

IMの開催テーマは『「食文化創造都市・鶴岡」としての将来像』で、基調講演の講師として、2015年開催のミラノ万博で日本館公式サポーターをつとめ、鶴岡市のユネスコ食文化創造事業をはじめ、日本各地で外国人向けの地域文化をテーマにした国際教育プログラムを展開している齋藤由佳子氏(GEN源社長・イタリア、ピエモンテ在住)をお迎えし、「食文化創造教育都市教育がもたらす持続可能な街 鶴岡」と題して幅広い視点からの貴

ル・ケッチャーノオーナーシェフ)、伊藤敦氏(鶴岡市企画部食文化創造都市推進課課長)、齋藤由佳子氏が参加し、山形、庄内地域の食文化をテー



マにした新たなまちづくりの将来像をそれぞれの立場から率直に語っていただきました。

主催者側の1人として大変僣越ですが、鶴岡市の将来像をテーマとした今回のIMはこれまでになく充実した内容のプログラムになったように思われました。懇親会の最後の「手に手つないで」も、参加した会員一人ひとりの盛り上がりもいつも以上に熱く感じられた時間でした。

1月13日(日)～19日(土)
国際協議会(米国・サンディエゴ)

サンディエゴからの帰還

大久保ガバナーエレクトの
国際協議会報告



2019年1月13日から19日までの一週間、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された2019国際協議会に夫婦で参加してまいりました。2018年12月8日に地区内全パストガバナーの皆さま、第5ブロックのクラブ会長・幹事、会長エレクト・副幹事の皆さま、そして我が山形南RC会員の皆さまより激励をいただき今回の国際協議会参加となりました。心より感謝申し上げます。サンディエゴは気候も良く、暖かい地域と聞いておりましたが、今回は非常に寒い一週間でした。サンディエゴ到着時 20℃、例年より寒い

開会本会議では、国際ロータリーに加盟しているすべての国の国旗入場が行われました。初めて聞く国名や初めてみる国旗も多く驚きました。バリー・ラシンRI会長の司会でスタートした本会議、マーク・マローニーRI会長エレクトが紹介され、RIテーマが発表されました。スピーチの中でテーマが発表された瞬間、1000名を超えるGE、パートナーの皆さまが総立ちになり、絶賛の拍手が沸き上がりました。そしてマローニー会長エレクトは「さあ皆さま、一緒に写真や動画をSNSで全世界に発信してください」



サンディエゴからの帰還

と説明をいただきました。空気は乾燥しており、到着した日は晴天でしたが、翌日から二日間雨、そして水曜日は辛うじて晴れましたが、また二日間は雨、帰日は晴れました。ホテルから出ることがない協議会ですが、晴れた景色を見られない一週間でした。

到着した日は、オリエンテーションと歓迎レセプションが行われました。翌日より協議会がスタート。本会議は夫婦で参加し、その後の分科会はGE部会とパートナーセッションは別れて参加する形式です。

とご自分もスマホを片手に呼びかけ、会場内は一斉にスマホで撮影そして送信、発表と同時に全世界にテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」が伝わりました。

「ロータリーは世界をつなぐ」、空港に多くの旅行者が集まることとロータリーに会員が集まること、人が集まることに違いはないがロータリーは共通の目的を持った会員が集まる。この意義を強く語り、ロータリーを成長させましようとして力強く語りました。成長させるためには会員増強の必要性を熱く語りま

した。人と人が繋がること、家族が繋がること、ロータリーがなければ出会うことがなかった人々。共通の考えを持った人々、私たちの支援を必要とする人々と繋がり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを、人々の繋がりは可能にします。

ロータリーは普遍的な事項、つまりロータリーの目的（中核的価値観）は根底に流れている考え方。その上にわかりやすく表現した「ビジョン声明」、そしてロータリーの新しい戦略的優先事項と年次目標の研修が分科会で行われました。特に革新性と柔軟性、この2項目は繋がるすべてのセッションで大きく取り上げられていました。若い人びととの繋がり、家族との繋がり、ロータリーと仕事の繋がり、それぞれの繋がりに、革新性と柔軟性を考え、ロータリーはよりよい奉仕活動を行うために変革を行う必要があります。そのためにはロータリークラブの問題点は何なのか。全会員で検討する必要があります。十分な奉仕活動を行うためにも会員増強は必須項目であります。これは私の基本的な考え方「ロータリーの木」の苗木を植えましように準じていると思います。

1週間の国際協議会に参加し、非常に有意義な時を

過ごすことができました。世界中の多くのGEご夫妻との出会いと語り合いは、私の人生の中で最も意義ある経験をさせていただいたと感謝申し上げます。



神主と十二単姿でツーショット。入場行進時に日本チームの先頭を歩いた島根のGE（出雲大社の宮司の衣装）と巫女さんの衣装です。

家内も帰国後ロータリーについて多くの友人にロータリーの素晴らしいことを語っているようです。刺激になったことと思います。

7月より一年間、2800地区の皆さまとともにRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を掲げてよりよい活動を実践しましょう。そして各クラブが成長することを目指して一年間努力してまいります。皆さまのご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

[2021~2022年度 ガバナー候補推薦のお願い]

各クラブに文書をお送りしておりますように、2021~2022年度のガバナー候補者の推薦をお願いいたします。

提出期限 | 2019年3月15日(金) 必着

提出先 | 上林直樹ガバナー事務所内 ガバナー指名委員会 宛

トピックス

地区補助金活用活動 | 酒田中央ロータリークラブ

遊佐町の「鱈ふくまつり」で、納豆汁を振る舞って大盛況!

「納豆汁」は予想をはるかに超える人気だった。

12月2日(日)に、納豆汁と大黒様お供え料理の食育料理教室が開催されました。10代から60代まで幅広い世代の方たちが50名ほど参加をし、郷土料理として親しまれている納豆汁、ハタハタの田楽、黒豆ごはんなどの意味合いを、



地域に伝わる伝統とともに学びました。その後は食事会を兼ねた「健康食品納豆のセミナー」が行われ、日本で最も歴史ある納豆製造会社の加藤敬太郎商店代表の秋田俊明社長よりお話しを伺い、納豆の素晴らしさをあらためて認識することができました。

翌月20日(日)に開催された「第24回遊佐町鱈ふくまつり」では、メンバーが食育料理教室のレシピをもとに200食分の納豆汁を調理して、イベント会場で振る舞いました。思いのほか大盛況で、30分ほどでなくなってしまいました。

両日ともに、納豆汁をおいしそうに食べる参加者の姿を拝見することができ、私たちも大満足しました。

酒田中央
ロータリークラブ
社会奉仕委員長
佐藤 昌則
Masanori Satoh



● 10月4日(木) 高島町長表敬訪問

第6ブロックAG | 増村 カ

10月4日、上林直樹ガバナーは高島ロータリークラブへの公式訪問に合わせ、高島町長に表敬訪問に伺いました。残念ながら寒河江信町長は東京へ陳情に出ており、渡部富士男副町長に対応をいただきました。

町民にロータリーの活動を知ってもらえるように『ロータリーの友』と『ガバナー月信』をロビーに置いていただき、毎月の更新をお願いいたしました。

東日本大震災の被災者はまだ数十名がおられ、定住化してきているとのこと。東北中央道が開通し福島までの時間短縮で、家族を高島に、仕事は福島という生活パターンも出てきている。少子高齢化問題、働く女

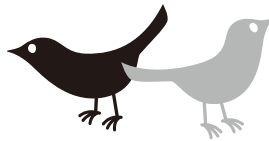
性が結婚しないこと、女性の能力が高く業務対応に適しているなどが話題となりました。次世代に向けた行政のあり方などにも話が及びました。



渡部富士男副町長にご対応いただいた

上林ガバナーの 表敬訪問デイズ

by Assistant Governor



- 10月4日(木) 高島町長表敬訪問
- 10月9日(火) 大石田町長表敬訪問
- 10月9日(火) 尾花沢市長表敬訪問

● 10月9日(火) 大石田町長表敬訪問

第3ブロックAG | 檜山智子

10月9日(火)、尾花沢中央ロータリークラブへのガバナー公式訪問を終えた後に、大石田町長へ表敬訪問を行いました。

庄司喜與太町長が公務のため、横山利一副町長よりご対応をいただきました。上林直樹ガバナーからはロータリー活動についての説明、また、酒田市で開催される今年度の地区大会で講演予定の野口健さんについてのお話があり、『ロータリーの友』を役場庁舎に置いて町民の皆さんにも気軽に読んでいただき、ロータリー活動の理解を広めたい旨をお伝えしました。

尾花沢ロータリークラブの村上恵介会長と横山利一

副町長が同級生という縁もあって、始終和やかな雰囲気の中、表敬訪問となり、上林ガバナーの意向も横山副町長に十分伝わったように感じました。



ガバナーの話に耳を傾ける横山利一副町長

● 10月9日(火) 尾花沢市長表敬訪問

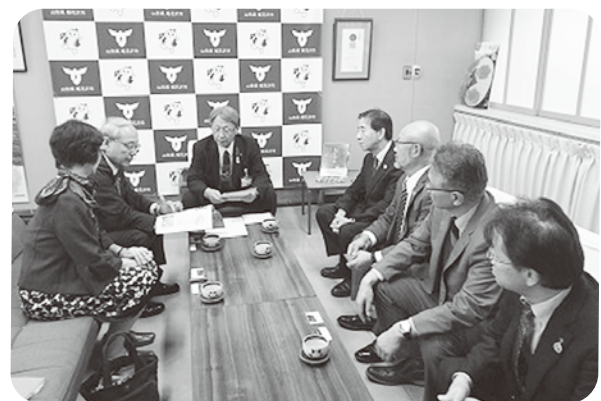
第3ブロックAG | 檜山智子

10月9日(火)、大石田町長への表敬訪問の後に引き続き、上林直樹ガバナーは尾花沢市役所を訪れて菅根光雄市長に表敬訪問を行いました。

市長就任60日目での表敬訪問に菅根市長は大変喜んでおられる様子でした。ロータリー活動に菅根市長から感謝の言葉をいただき、尾花沢中央ロータリークラブの皆さまの日頃からの熱心な奉仕活動の賜と深く感じ入りました。

尾花沢市庁舎は現在建て替え中で、今年5月1日より、「新年号」とともに新しくスタートするとお聞きしました。次年度は新庁舎での表敬訪問となります。

上林ガバナーには公式訪問、2カ所にわたる表敬訪問とまことにご苦労さまでした。ガバナーのご苦労を、今日一日近くで間近に拝見し実感させられました。



就任ちょうど60日目の菅根光雄市長

第3回 諮問委員会開催の報告

2019年2月2日(土)

2019年2月2日(土) 午前10時30分より第3回諮問委員会が山形市、ホテルキャッスルにて開催されました。出席予定者23名(事務局スタッフ含む)が揃い定刻に始まり、「諮問事項」は以下のように8項目でした。

- 諮問1 第2回諮問委員会の議事録確認・了承の件
 諮問2 2018～19年度地区資金中間報告・地区大会中間決算報告について
 諮問3 ガバナーエレクト国際協議会報告について
 諮問4 2019～2020年度地区組織図(案)について
 諮問5 2019～2020年度ガバナーエレクト地区資金予算(案)について
 諮問6 その他
- 1) ガバナーノミニ・デジグネートに関して
 - 2) 2019年4月14日～18日規定審議会開催について
 - 3) 地区研修本について

上林直樹ガバナーの議長により、協議が進行しました。出席された各諮問委員の方々よりご質問やご指摘、また貴重なご意見をいただき、限られた時間の中で活発な討議が行われました。いずれの諮問事項も原案通りに承認をいただくことができました。

大久保章宏ガバナーエレクトからは、サンディエゴで行われた国際協議会での内容の報告を詳しくいただきました。また、地区研修本については、鈴木一作直前ガバナーより内容について詳しく説明をいただきました。和やかな雰囲気の中でスムーズに進行し、第3回諮問委員会を閉会いたしました。

今回の第4回諮問委員会は2019年5月18日(土)に酒田市ル・ポットフーにて開催を予定しております。当日は「酒田まつり」直前での開催となり、日頃ご多忙な諮問委員の方々も時間を割いて祭りを楽しんでいただければと思っています。(地区幹事・池田健一)

第2回地区チーム研修セミナー開催

2019年2月2日(土)

2月2日(土) 13時より山形市キャッスルホテル3階「万葉」にて第2回地区チーム研修セミナー(次期地区ガバナー補佐・委員長・委員研修会)が開催されました。上林直樹ガバナーによる開会点鐘およびご挨拶、大久保章宏ガバナーエレクトよりご挨拶および出席者紹介を行い、鈴木一作次期研修リーダーPGより「ロータリー・リーダー研修書」を用いてセミナーの主旨および地区リーダーの役割についてお話いただきました。

その後、大久保章宏ガバナーエレクトより国際協議



会報告・2019-20年度RIテーマならびに2019-20年度地区目標・方針について発表されました。

●2019-20年度RI会長

マーク・ダニエル・マローニー (DecaturRC・アラバマ州)

●2019-20年度RI会長テーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」

●2019-20年度地区目標・方針

〈基本理念〉

元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植えましょう

クラブに、地域社会に、世界に、次世代の為に

〈基本方針(行動スローガン)〉

元気なクラブづくりのために「一歩前に踏み出しましょう」

そして休憩後、各委員会ごとに分科会を開催いたし



ました。カウンセラーPGをアドバイザーとして、地区研修協議会および次年度の事業計画について検討・協議を行い、分科会終了後には各委員会より分科会の報告を発表いただきました。最後に上林直樹ガバナーより総括いただき、閉会点鐘で有意義な時間が終了いたしました。(次年度地区幹事・鈴木政康)



君たちの人生に米山奨学生として
過ごした日々が克明に刻まれる。

米山奨学生 歓送会

忘れない、山形で過ごした日々！

2月16日(土) | ホテルキャッスル(山形市)

米山奨学委員会委員(米沢上杉RC) 依田 聡

♪ 仰げば尊し わが師の恩♪ 学問の師である大学の指導教官の方々、人生の師であるカウンセラーの皆さんに見守られて8名の米山奨学生の旅立ちです。

去る2月16日山形市のホテルキャッスルにおいて、米山奨学生歓送会が行われました。奇しくもこのホテルキャッスルは、米山奨学生になるための、合否のかかった選考試験の会場でした。奨学生にとってもロータリアンにとっても思い出深いこの会場から、奨学生たちはこの日、♪ 今こそ わかれめ いざさらば♪ と巣立って行きました。

歓送会は上林直樹ガバナーの開会の挨拶にはじまり、田中隆一米山奨学・学友委員長の言葉、そして上林直樹ガバナーより奨学生の皆さん一人ひとりに終了証と在籍証明書が贈られました。さらに指導教官の方々とカウンセラーの皆さんには、感謝状が贈呈されました。

奨学生のスピーチは、カウンセラーへの感謝、世話クラブでの楽しい思い出、これからの予定等がこぼれんばかりの笑顔で語られました。カウンセラーの皆さんは山形の父母として慈愛に満ちたスピーチを送りました。引き続き大久保章宏ガバナーエレクトより「米山学友となられる皆さんへ」と題して、米山学友会の

素晴らしさを語られ、今年の地区大会でまた会いましょうと付け加えられました。山形米山学友会の高吉嬉会長からは、学友という「繋がり」の魅力についてお話をいただきました。結びでは米山奨学会評議員の新聞彌一郎パストガバナーより、「最高のお言葉」をいただ



き、奨学生たちの笑顔もさらに輝きました。

終了証をいただいた奨学生は以下の通りです。●胡紅(中国/山形大学)山形RC・長谷川憲治 ●ゴンルドブ・マリエッタ・ニョンブアンラ(ベナン/山形大学)鶴岡RC・藤川享胤 ●李 哉炆(韓国/東北芸工大学)山形南RC・谷口義洋 ●アリウンボ・ロド・スガルマー(モンゴル/山形大学)天童RC・松村澄男 ●孫文婷(中国/山形大学)米沢RC・船山百栄 ●バシャール・サミウル(バングラデシュ/山形大学)南陽RC・網代欽二 ●王 健康(中国/山形大学)米沢中央RC・齋藤栄助 ●グラマー・デレク・スコット(米国/東北大学)山形イブニングRC・大竹隆

青少年交換学生 帰国後トーク③

R O T E X



菊地 真穂

Maho Kikuchi

山形西高等学校 派遣国/台湾

スポンサーRC/寒河江ロータリークラブ

派遣期間/2017年8月26日~2018年6月26日

ホストファミリーは私に 本当の家族のように接してくれて、 私もそれに十分に応えた。

約10ヵ月の台湾への派遣から帰国し、7ヵ月が経ちました。台湾に行く前は、受験や高校入学などがアウトバンドの期間と重なり、あまり青少年交換プログラムや自分の将来、何を学びに行くのかなどについて深く考えていなかったかと思います。それらについて真剣に考え、自分の甘さに気が付いたのは台湾の地に降り立って少ししてからでした。

ここは日本ではない国で日本人は私一人。言葉も通じない状況でとても不安でした。しかし、ホストファミリーは私を本当の家族と思って接してくれている。学校の友達も中国語も英語もうまく話せない私に伝わるまで努力して仲良くなろうとしてくれている。そう気が



つきました。だから、私もホストファミリーを日本の家族のように思い、積極的にみんなに話しかけることで友達をたくさんつくることができました。

そうしたなかで、私が中国語や台湾語をきちんと話せたらもっと皆さんと会話できるのかな、仲良くなりたいなど思うようになり、勉強にも熱心に取り組みました。また、台湾の人たちと一緒に過ごす中で、生活を通して習慣の違いなども垣間見ることができました。



この10ヵ月で台湾や他の国の文化、言語、物事に対する積極性、感謝の心など沢山の事を学びましたが、台湾に行って一番良かったと思ったのは、ホストファミリーと台湾や交換学生の友達と、ロータリーの皆さんと出会えた事です。このような機会をくださった寒河江RCをはじめとするロータリアンの皆さん、本当にありがとうございます。これからはローテックスとして恩返しができるように活動していきたいと思っています。

ホストファミリー を経験して……

寒河江ロータリークラブ

奥山 吉一 *Yoshiichi Okuyama*

沈予媛さんは、台湾斗南RCからの2017-2018年度受け入れ留学生です。寒河江RCと斗南RCは1991年に友好クラブを締結し、1996年には姉妹クラブを締結。以来、長くお付き合いをさせていただいております。その間、短期交流交換は8回、100名を超える斗南の



学生がホームステイ、長期交換は6回行っております。沈予媛さんはこれまで、短期で寒河江を訪問、家族とともに訪問したりで、4度目の寒河江となります。

今回の来日は山形の花笠祭りの日でしたので、浴衣に着替えて市役所前で踊ってもらいました。翌日、山形新聞に顔写真が載って、よい思い出になりました。高校は山形西RCのネルソン君と同じ学校に通うことができました。彼女にとっては初めての電車通学です。

学校生活は弓道部に入り「練習するのが楽しい」と言っておりましたので、安心して見守ることができました。ホームステイはたいへんですが、留学生にとっては生涯忘れることのない体験です。また、私たちにとっても忘れがたい経験です。このような貴重な体験、経験を大切にしたいものです。

Monthly Report.005

青少年交換学生
マンスリーレポート



フランス便り



佐藤 真綸

Marin Satoh

東海大学山形高等学校
スポンサーRC / 寒河江RC
派遣国 / フランス(トゥールーズ)
報告日 / 2018年12月25日

フランスでのクリスマスを 楽しく過ごすことができました。

JOYEUX NOËL! (メリークリスマス!) 日本では真っ白な雪が積もるホワイトクリスマスになったでしょうか。12月も後半を迎え日本ではクリスマスに大晦日、お正月と大変な時期かと思えます。皆さまはどのようにお過ごしでしたでしょうか。

さて、私はフランスに来てから4カ月が経ちます。日本では滅多に見ないとは思いますが、12月の初めにフ

ットの持ち方から技まですごく本格的です。1対1でマッチをするのですが、みんな本当に強くてなかなか手ごわいです。

私のクラスの担任の先生が哲学の先生で、先週の哲学の授業でクリスマスパーティーをしました。前もってクジ引きをして紙に書かれた名前の人に3€までのプレゼントを買い、それまで内緒にして当日にプレゼントを渡すという催しです。みんな個性豊かなプレゼントで素敵だなと思いました。また、ケーキやお菓子も食べてとても美味しく本当に楽しかったです。



ランスの大統領であるエマニュエル・マクロン氏の自動車の燃料税の引き上げ政策に反対する大規模なデモがフランス各地で起こり、パリでは凱旋門の一部が壊されたり、建物に火をつけたりといった暴動があり、死者も出ました。私が住んでいるトゥールーズも例外ではなくたくさんの抗議者が車道を歩き行進したりパトカーにガラス瓶を投げたり、ATMの画面が割られているといった被害が見られました。

私が通う高校でも生徒たち自らが学校のルールに対してのストライキを起こして、その日の授業がなくなったことがありました。本当に危険なことではありますが、フランスはそれだけ自己主張の強い国で、自分の意見を主張して行動を起こしたり、私自身が学ばなければならないことも多くあるように思いました。

12月19日にホストファミリーが変わりました。現在台湾に留学している子の家です。一度この家には行ったことがあるので緊張はしませんでした。ホストファミリーの皆さんは親切で陽気で、毎日がすごく楽しい! 学校のスポーツの授業では卓球をしています。ラケ

日本の学校は冬休みに入っていると思いますが、フランスもバカンスに入りました。フランスのクリスマスは家で家族と過ごすのが普通です。ホストマザーの両親の家に集まってクリスマスを過ごしました。夜にはプレゼント交換があり、私はマフラーとベレー帽、そしてお菓子作りの本をもらいました。本当に嬉しかったです。また、みんなで一緒に食べる食事はいつもより格段においしかったです。日本でのクリスマスは、毎年家族で肉と寿司とケーキを食べ、テレビを見ながら過ごしていましたが、今年は他国でクリスマスを過ごすという貴重な経験をすることができました!

4カ月前にフランスに来たばかりの頃は、ネイティブの話すフランス語のスピードが早くて全然理解できませんでしたが、時間が経つにつれて耳が慣れてきて、理解できる言葉が少しずつ増えて話している内容が理解できてきました。早い会話の中では相手に自分の考えを伝えることはまだまだ難しいですが、一生懸命に勉強して早くネイティブと会話ができるようになりたいと思います。

年 明けの1月27日(日)、28日(月)1泊2日の日程で、2018-19年度交換留学生のインバウンド5名を引率し、岩手県の安比高原スキー場にてウインターキャンプを開催いたしました。

毎年、来日してから生まれて初めて雪を見る生徒も多いため、今回も初心者向けのインストラクターと腕(脚?)には自信があるという心強いロータリ



アン4名が引率し、ホストファミリーの方たちを含め、総勢13名で行われました。

5年前までは、毎年1月の最終土・日曜日に開催される蔵王温泉樹氷祭りにあわせ、地区内のインターアクトの皆さんとの交流を兼ねて開催しておりましたが、土・日曜日では宿泊費が嵩むこと、ロータリアクトの皆さんもその日に開催しなくなったこと、1月下旬の蔵王は吹雪に見舞われることが多いことなどから見直されたのです。2016年には初心者

向けとしてふさわしい絶好の福島県の猪苗代スキー場、そして2017年、2018年、2019年は株式会社ユアテックさんの安比保養所を宿泊地として安比高原スキー場で開催してまいりました。

今回の参加メンバー5名のインバウンドのうち、アメリカのテイラーはロッキー麓で生まれ育ち、スキー競技に出場していたこともあってエキスパート級です。フランスのコンスタンスとコランは、形はともかく暴走系のため目が離せません。ドイツのフェイは自力で何とか降りてこれるレベルで、ブラジルのナオミはまったくの初心者でしたが、あまり滑れなかったフェイとナオミも2日目には楽しかったとのことでした。

2日目の昼食は、盛岡でわんこそば大会を開きました。優勝者は、来日5カ月ですでに11Kg増量したフランスのコラン君155杯でした。

他国の交換留学生は様々なトリップやキャンプが用意されているなか、当地区ではインバウンドを楽しませる行事が少ないため、滞在期間の中で今回のスキーキャンプが楽しい思い出となってほしいと願っております。

ウインターキャンプ

[青少年交換・学友小委員会]

1月27日(日)28日(月)|鶴岡~安比高原(岩手県八幡平市)

青少年交換・学友小委員会委員(余目RC) **大滝 正博**

盛岡といえばやっぱり、「わんこそば」。
ランチタイムも盛り上がりました。



耀けよ! 少年少女!





酒田中央
ロータリークラブ会長
下村 宏
Hiroshi Shimomura

人前で話すことが苦手で、最初は苦になることばかりを考えたものです。ところが……

入 会13年目で、当クラブ所属の上林ガバナーと同年度での会長職を拝命し、強い不安を感じたまま今年度がスタートしました。人前で話すことが苦手で、毎週の例会で話す会長の時間、各所での挨拶など、最初は苦になることばかりを考えたものです。ところが、就任後7カ月が過ぎ、何でも経験は人を成長させてくれるものと実感しました。ロータリーを自ずと学び、地域の出来事を調べ、それを会長の時間で披露し、また、充実した例会を目指し、切磋琢磨する日々を過ごすことができます。

会員42名の当クラブは、ガバナー所属のホストクラブとしては少ないメンバーのクラブだと思

1B

ます。また、メンバー構成は、チャーター11名、入会5年未満11名、37歳から74歳まで平均年齢60歳となっています。地区大会・セミナーは、第1ブロックの他のクラブの協力を得ながら、背伸びせず粛々と運営し、公式訪問は若手メンバーを中心に同行してもらい、何とか終わることができました。公式訪問のみならず、行き帰りの車中での上林ガバナーとの会話が、若手メンバーにとっては学びや経験となり、心からよかったと思っております。

このように多様なガバナー関連事業の運営とともに当クラブのメンバー構成を考慮すると、クラブ奉仕の充実が何よりも必要と考え、実践しているところです。年齢が親子ほど離れたメンバー同士の融合のための親睦例会や、メンバーをより知るための卓話例会を多く取り入れています。

会長職も、あと残り数カ月です。会長職を経験させてくださったメンバーの皆さまにおいては、心から感謝の気持ちを贈るとともに、自分自身が最後までロータリークラブを楽しんで、会長職を終えたいと思います。

「会 長の気持ち」というタイトルの原稿依頼を受けた。会長としての現在の正直な気持ちとなれば、あと4カ月で任期が終わるといふ一種の安堵感である。ただ、編集者の方の意向が、会長として何か意見を述べてみよということであれば、「ロータリーと英語」について一言申し上げたい。

[Be the Inspiration.]の訳が「インスピレーションになろう」ではなからうと、会長挨拶で3回にわたってごねた。serviceは奉仕ではなく、奉仕ならむしろvoluntaryではないのか等々、会長に就任して以来、このことでは物議を醸し出してきた。

ところがである。[Be the Inspiration.]を日本語でどう訳すの?と聞かれてみれば、言葉に詰まってしまうのである。会員の佐藤松兵衛さんから、名訳を伺ったが、それは最終例会の挨拶に取っておきたいので、ここでは残念ながら伏せざるを得ない。

要は、単に言葉だけの問題ではなく、言葉が生まれる文化の違いによるところが大きいことに最近気づいた。言葉は、その意味する実態を伴って初めて用をなすわけだから、合致する実態がなければ、適宜な訳語を作ることは土台無理な話な



山形
ロータリークラブ会長
仙道富士郎
Fujiro Sendo

5B-a

会長として何か意見を述べてみよということであれば、「ロータリーと英語」について一言申し上げたい。

のである。ありていに言えば、日本語の「わびさび」を英語で何と訳そうか。

アメリカに留学していた時の話である。道ですれ違う見知らぬ人が[Hi!]と挨拶をしてくる。なんと心優しい人々なのかと思っていたが、[Hi!]という挨拶は、「私はあなたに敵意を持っていないよ」という自己表現として始まったのだと聞いた。多民族国家の人々ならではの話で、我々日本人には、即理解可能な話では無い。ロータリーがアメリカから始まったものであれば、それはかの国の文化に色濃く染められていることは間違いあるまい。それを、日本人の我々が、言葉の問題も含めて如何に理解していくのか、難しい話ではある。

スキー交流を重ねて10年、 まさに「ロータリーマジック」。

第2530地区(福島)も参加してのスキー交流会



蔵王スキー愛好会会長
パストガバナー(天童RC)
佐藤 豊彦
Toyohiko Satoh

W E L O V E S K I I N G !

スキー愛好家のロータリアンが集い、2010年に始まった「スキー交流会」が、今年で「10周年の節目」を迎えました。今回も蔵王スキー場(山形県)で、2月2日、3日に開かれ、県内外の8クラブから32名が参加。10周年に相応しい盛り上がりで、まさに「ロータリーマジック」を実感できました。

初日は大型クルーザーで樹氷を周遊する「樹氷幻想回廊」ツアーに有志で参加しました。ハイシーズンとあって、予約受付の電話が繋がらない事態に焦るも、何とか6人分の席を確保し、一面に広がる幻想的なスノーモンスタを鑑賞しました。その後、宿泊先のホテル「ヴァルトベルク」で第2530地区10人と、第2800地区5人の参加者で前夜祭を催し、「怪我のないスキー交流会になるよう」に祈念しながら、楽しい時間を過ごしました。

2日目は「10年続けてきたなかで、一番天气が良い」と当会幹事の野川勝弘さん(天童RC)が語るほど天候に恵まれました。午前中はパラダイスゲレンデで白河西RCの佐藤幸彦さん、山本哲彦さんが講師を務めたスキー教室が開かれ、体重移動など基本テクニックを確認しました。三五郎小屋での昼食をはさみ、一行は山頂駅までリフトを乗り継いで移動。雪に埋もれた地蔵に安全を祈願すると、樹氷の間をすり抜ける「ザンゲ坂」を滑降しました。

蔵王の雪質をクタクタになるまで楽しんだ一行は、ホテルの温泉で汗を流すと、午後6時からの「懇親会」に

合わせて訪れた“ウイ”スキーメンバーと合流。第2530地区からは白河西、白河、喜多方より15人、第2800地区からは米沢、新庄あじさい、長井、白鷹、天童より17人、総勢32人が参加しました。

各地のメンバーが持ち寄る自慢の銘酒に酔いしれながら、一同で10年間を振り返ったスピーチ、新庄あじさいRCの芳賀さんによるハーモニカの演奏に大きな拍手が送られました。スキーの疲れを忘れるかのよう



2010年に始まった「スキー交流会」は今年で10年目。
2530地区のロータリアンも蔵王にやって来て合流!

な宴は二次会に入っても衰えず、ロータリー談義に花が咲いたひとときでした。

初回から参加していた米沢中央RCのメンバーが欠席だったのが残念ですが、来年お会いできることを今から楽しみにしているところです。

友情と親睦を深める当スキー交流会は次年度から会長を野川勝弘さんに託し、新たに船出いたします。



米沢中央
ロータリークラブ
島貫 正弘
Masabiro Shimanuki
[2016年7月入会]

米沢中央ロータリークラブに入会してから2年半が経ちました。入会は取引先の社長さんからの誘いでした。私が入会した年がクラブ創設の30年の節目の年でもあり、会員全員が忙しく活動されているなか、ロータリーのことが何も分からないまま周年記念事業やIM、地区大会等を経験させ

ていただいたことが思い出されます。2年目には会員増強委員長の大役を仰せつかり、会員の方々の支えもあって4名の新入会員を迎えることができました。

米沢中央クラブの特徴は大変まとまりがあり(例会出席率98%)、年齢の分け隔てな

ロータリー活動の経験を、 自分自身の成長に繋げたい

く明るく接していただけるのが魅力と自負しています。ロータリー活動によって得た貴重な経験を、今後は私自身の成長に繋げていきたいと願っています。

しんじん
ロータリアン
のひとこと ⑧

2019年2月3日(日)
10:00~16:50
神戸商工会議所 神商ホール
アリストンホテル神戸

第11回 全国RYLA研究会 出席報告

[参加者]
鈴木一作 直前ガバナー・
青少年奉仕カウンセラー
後藤洋一
RYLA小委員会委員長

Let's challenge RYLA



直前ガバナー・青少年奉仕カウンセラー

鈴木 一作
Issaku Suzuki

研究会で学び得たことを、6月開催予定の 2800地区RYLAの成功に生かしたい。

去る2月3日(日)、標記研究会が神戸商工会議所で開催されました。RYLA学友も含め総勢350人ほどの登録で、2800地区からは後藤洋一RYLA小委員長と私の2名参加です。

開会後すぐのプログラムは、長年に亘りRYLAに関わってきた三木明RI理事をモデレーターとした、「2018 JAPAN RYLA」参加者によるトークセッションでした。年齢も職種も人柄も多様な若者らが、知識もスキルも行動力もあるのに、様子見とポジション作りで心がなかなか開けなかった



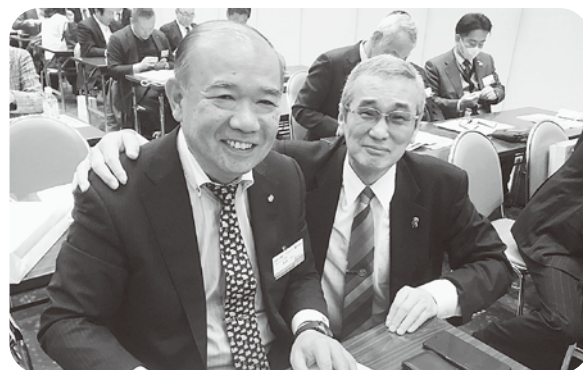
三木明RI理事をモデレーターとしたトークセッション

RYLA初日。それが、自己PR合戦、役割分担や互助協力の話し合い、ワークショップなどを通じて友情が芽生え、それが以後の研修への意欲や懸命さに繋がり、素晴らしい3泊4日の体験だったと、誰もが異口同音に語っていました。なにより、瞳を輝かせながら「RYLAに参加して良かった」と言ってくれる若者は、我々ロータリアンの喜びです。

次は、青少年奉仕や危機管理のベテランで、2680地区の黒田建一RYLA委員長による「若者の危機管理」の講演でした。大いに共感するところがあり、私自身、現在作成中の2800地区クラブ・リーダー研修書の中に、「青少年の保護」という項目を新たに追加いたしました。当地区ではあまり表に出てこない話題ですが、今後はPETSや地区研修・協議会などでも採り上げるべきだと思います。

昼休みは、本年3月の2580地区(東京・沖縄)RYLAの打ち合わせです。実は、昨年の2800地区RYLAに引き続き、妻が「バースカフェ」研修を依頼され、私もワークショップを担当します。その相談の場に、昨年の当地区RYLAへ見学に来られた他地区ロータリアンらもやって来て、遠藤伸一青少年奉仕委員長の主管で行なった「気づき(自信と愛と志)」RYLAの素晴らしさを口にされ、大いに場を盛り上げてくれました。

午後は5つの分科会があり、私は「RYLAの原理



同行の後藤洋一RYLA小委員長と

と運営」について学びました。RYLA成功の鍵は巧みなプログラム構成と演出であることに、今さらながら感心しました。

以上、学んだことを活かしながら、本年6月の2800地区RYLAの成功に向けて頑張ることを、後藤小委員長と誓い合ったところです。ぜひ、各クラブ1人以上の若者を派遣してください。

[追記] 往復とも新幹線の乗り継ぎでしたが、三木RI理事からいただいた故・深川純一先生の講演録のおかげで、帰りの車中は涙と嗚咽の6時間でした。

[新人ロータリアンのために]

RYLA(ライラ|Rotary Youth Leadership Awards)は、クラブや地区(または複数地区合同)によって実施される、若者のためのリーダーシップ養成プログラムです。イベントは、1日のセミナーや3日間~1週間の合宿など、目的、リソース、参加者の種類によってさまざまな形で実施されます。



所属/米沢中央
職業分類/生命保険
石井 宏幸
Hiroyuki Ishii
[2019年1月入会]



所属/南陽臨雲
柿崎 教之
Noriyuki Kakizaki
1月14日ご逝去
[享年60歳]

表 彰



第25回 米山功労者
メジャードナー
遠藤 栄次郎
Eijiro Endo
[山形西]



第15回 米山功労者
メジャードナー
鈴木 隆一
Ryuichi Suzuki
[山形西]



第10回 米山功労者
メジャードナー
渡部 吉春
Yoshiharu Watanabe
[鶴岡西]



第6回 米山功労者
マルチプル
野川 桂一
Keiichi Nogawa
[天童東]



ポール・ハリス・フェロー
メジャードナー
第5回 米山功労者
マルチプル
大久保 章宏
Akihiro Okubo
[山形南]



第4回 米山功労者
マルチプル
長谷川 浩二
Koji Hasegawa
[山形西]



第4回 米山功労者
マルチプル
小林 恵一
Keiichi Kobayashi
[山形西]



第3回 米山功労者
マルチプル
奥山 忠道
Tadamichi Okuyama
[山形北]



第3回 米山功労者
マルチプル
鈴木 修次
Shuji Suzuki
[天童]



第2回 米山功労者
マルチプル
杉山 光秀
Mitsubide Sugiyama
[山形北]



第2回 米山功労者
マルチプル
志田 泰久
Yasubisa Shida
[天童東]



第2回 米山功労者
マルチプル
後藤 寛
Satoshi Goto
[山形北]



第2回 米山功労者
マルチプル
小林 正幸
Masayuki Kobayashi
[山形北]



第1回 米山功労者
森谷 和則
Kazunori Moriya
[山形北]



第1回 米山功労者
古瀬 正勝
Masakatsu Furuse
[天童東]



第1回 米山功労者
山口 孝
Takashi Yamaguchi
[天童東]



第1回 米山功労者
遠藤 隆一
Ryuichi Endo
[山形中央]



第1回 米山功労者
小林 敏郎
Toshio Kobayashi
[山形中央]



第1回 米山功労者
武田 晃士
Koji Takeda
[山形中央]



第1回 米山功労者
板垣 喜代志
Kiyoshi Itagaki
[山形中央]



第1回 米山功労者
三浦 龍夫
Tatsuo Miura
[山形中央]

[山形西ロータリークラブ] 第31回 米山功労クラブ



Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 009

水と衛生月間

Schedule of March 3月のスケジュール

日 曜	主要な行事
3/1 金	
2 土	第5ブロックIM(中山町)
3 日	
4 月	
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	
9 土	合同セミナー(酒田市)(会員増強・職業奉仕・社会奉仕)
10 日	
11 月	
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	
16 土	
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	第1ブロックIM(酒田市)

日 曜	主要な行事
21 木	(春分の日)
22 金	3地区合同青少年交換スプリングキャンプ(鶴岡市)
23 土	
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	RAC年次大会(米沢市)
31 日	第4ブロックIM(寒河江市)
4/1 月	
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	米山奨学生オリエンテーション&カウンセラー説明会(山形市)
7 日	第3回RAC会長・幹事会(天童市)
8 月	RI第1・第2・第3ゾーン会員基盤向上セミナー(ホテルオークラ東京別館)
9 火	



(写真左より) 日本三大つるし飾りの酒田の傘福 | 傘福と雛人形 | 展示会場の「山王くらぶ」

Rotary



ガバナー事務所

〒998-0854 山形県酒田市末広町7-1 鐵工会館内
tel.0234-28-8604 fax.0234-28-8614
e-mail: ri2800kanba@email.plala.or.jp
http://www.facebook.com/ri2800.kanba

地区事務所

〒994-0027 山形県天童市桜町2-20
tel.023-687-0208 fax.023-687-0209
e-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.rid2800.jp>

表紙写真 | 南悠一

お顔立ちが美しい「胡蝶の舞」(明治期・酒田あいおい工藤美術館蔵)。
京都の名匠、丸山平蔵の作。酒田、鶴岡の観光施設では2月下旬より、
江戸初期以降のお雛さまが「庄内雛街道」として展示される。